



= 世紀を超えて =
創立 110 周年記念式典



母校の“世紀を超えた歩み”はこの一枚の写真から始まった
【中1回卒業生40名 明治40年(1907年)3月27日】

- <第一部> 平成24年度通常総会
- <第二部> 記念コンサート
- <第三部> 祝賀会

とき：平成24年7月7日(土)
13:00~18:00

ところ：レンブランドホテル厚木

神奈川県立厚木高等学校同窓会

ご挨拶

同窓会会長

石川 範義(高10)



薄暑の候、同窓の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
光陰矢の如しと申しますが、あの熱気立った創立100周年から早や
あつと云う間の10年が経ちました。

そして今日、創立110周年という節目の式典を迎えることとなりました。

周知のように、明治35年(1902年)に我が母校厚木高等学校は、多くの課題と困難をのりこえ
厚木は、戸室の丘に神奈川第三中学校として開校いたしました。

以来、大正・昭和・平成と時代は移り厚木中学校・厚木高等学校と名称を変えましたが、
初代大屋八十八郎校長(初代同窓会長)や2代永野毅氏、3代岡崎勝男氏、4代茅誠司氏ら
同窓会長の母校に寄せる思いは、”世紀を超えて“幾多の同窓生の胸中に宿り続けてまいりました。
今この思いを未来に引き継ぐことが、私達に課せられた役目であるとの決意を新たにしております。

この10年で会員が3,000名増え、卒業生は、のべ約29,000名を数えるに至りました。
支部戸陵会は、清川戸陵会、県外で新潟戸陵会・関西戸陵会と設立が続き18支部戸陵会と
なりました。

110周年を機に”高きに憧れ長きを慕う”我が母校・同窓会の更なる発展と益々の躍進が図られ
ますよう、ご参会の皆様方のご支援・ご協力を今後とも、母校支援記念募金ともども重ねてお願い
申し上げます。

本日は、「青春の憶い」を「明るい未来」を高らかに祝杯を挙げ、共に語りあいましょう。
御出席、誠にありがとうございました。

燈々無尽……………



温故知新

校長 田中 均

今年で110周年を迎える厚木高等学校は、神奈川県第三中学校として明治35年に創設され、今日まで同窓生の皆様や地域の方々に支えられ、28,960人（旧制中学校3,958名、新制高等学校25,002名）に及ぶ有為な人材を世に送り出してきました。

厚木高校の今年度のテーマは温故知新です。同窓会からは生徒たちに応援団旗が寄贈されますが、厚木高校の伝統を見直す良い機会とするとともに、同窓生との連携を通して生徒が先輩たちから何かを感じ取り、その伝統を新しい時代へ引き継ぐ契機となればと考えています。9月27日には110周年記念式典を開催いたしますが、第一部式典、第二部成果発表、第三部活動発表、第四部生徒全員による表現、という構成で、生徒が主役となる記念行事となることを期待しています。

施設面では、県費及び同窓会のご支援により、110周年記念事業として、昨年度解体した第三戸陵会館跡地に芝生を植え、生徒が憩える空間とするとともに老朽化したフェンスの整備を行うことといたしました。また中庭にある中32回卒業生から寄贈していただいた戸陵の鐘を、芝生を植える第三戸陵会館跡地の東南の角、朝日が真っ先に当たる場所に移しますと、校歌にある『戸室の岡辺、旭日射して、三剣光り輝く、見ずや』が具現化すると考えており、これも実現の方向で現在進行中です。

第二戸陵会館にはトレーニングルームがありますが、現在使われていない器具が多いため、ここでも同窓会のご支援を頂きながら、これを整備して運動部の生徒に大いに活用してもらいたいと考えています。

このほかにも生徒の全国大会、関東大会出場時のご支援を賜るなど、同窓会の皆様には大変感謝しております。校長といたしましても、皆様の期待に応えられるよう、魅力ある教育課程の編成に努めてまいります。その一端を紹介させていただきます。

今年度は新たな取組として1学年の情報、2学年の総合的な学習の時間で探究活動を展開しております。特に2学年においては、理科の探究活動を実施することとしており、科学技術立国である日本の将来を担う本校卒業生に文系・理系問わず全ての生徒に科学的思考力を育成したいと考えております。1、2学年ともに週2時間の授業ですが、生徒が思考力、判断力、表現力を活用して、探究の苦しさ楽しさ、自らの考えを発表して質問に応え、議論する緊張感、充実感を味わってほしいと考えています。友人との切磋琢磨を通して、本校の目指す生徒像である『智』、『仁』、『勇』の三徳を備えた生徒に成長してくれるものと期待しています。

昨年度から引き続いて行われている授業改善は先生が主役の取組ですが、先生の授業改善への思いが生徒のモチベーションの向上へと繋がることを期待しています。

さらに教育環境整備のため、今年度も文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定獲得を目指したいと考えております。先ほども述べましたように、文系・理系問わず全ての生徒に科学的思考力を育成したいという趣旨から、昨年度に引き続き再度チャレンジしたいと考えております。

今後とも古き良き伝統から学び、新たなチャレンジを積み重ねる努力をしてみたいと思います。同窓生の皆様におかれましても、今後とも母校生徒への応援を宜しく願います。

<第1部>平成24年度通常総会

13:00 開式

= 物故者へ黙祷 =

- 1 開会のことば
- 2 同窓会長 あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 来賓祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 表彰
- 7 応援団旗披露
- 8 議長選出
- 9 議案審議
 - (1) 平成23年度 事業報告
 - (2) 同 決算報告
 - (3) 同 会計監査報告
 - (4) 平成24年度事業計画(案)
 - (5) 同 本部会計予算(案)
- 10 学校報告
- 11 閉会のことば

14:30 閉式

平成 23 年度事業報告

日 時	事業名	備 考
平成 23 年		
4 月 13 日	創立 109 周年開校記念日	
4 月 17 日	睦合戸陵会総会	
5 月 1 日	同窓会報第 45 号発行	
5 月 4 日	第 11 回地引き網会	
5 月 14 日	伊勢原戸陵会総会	
5 月 22 日	森の里・玉川戸陵会総会	
5 月 29 日	平塚戸陵会総会	
6 月 4 日	役員会・理事会	
6 月 12 日	荻野・座間戸陵会総会	
6 月 18 日	愛川戸陵会総会	
6 月 19 日	関西戸陵会総会	
6 月 20 日	海老名戸陵会総会	
6 月 25 日	平成 23 年度通常総会	
7 月 2 日	役員会・理事会 相川戸陵会総会	
7 月 14 日	小鮎戸陵会総会	
7 月 19 日	依知戸陵会総会	
7 月 24 日	厚木連合戸陵会通常総会	
7 月 30 日	厚木戸陵会総会	
8 月 28 日	役員会・校歌祭練習会	
9 月 11 日	大和戸陵会総会	
9 月 23 日	第 6 回青春かながわ校歌祭	
10 月 8 日	相模原戸陵会総会	
11 月 12 日	秦野戸陵会総会	
11 月 19 日	思い出の杜に親しむ会	
11 月 23 日	役員会・理事会	
平成 24 年		
1 月 14 日	役員会・理事会・110 周年実行員会	
2 月 5 日	津久井戸陵会総会	
2 月 19 日	南毛利戸陵会総会	
3 月 1 日	第 64 回卒業式	
3 月 4 日	御所見戸陵会総会	

平成23年度 決算

単位:円、－:減収 ▲:支出過

項 目		予算額	決算額	増減	備考	
収入の部	1 会費	2,970,000	2,500,000	-470,000	年会費527人 10年32人 終身29人	
	2 入会金	2,170,000	2,212,000	42,000	316人	
	3 寄附金	150,000	140,000	-10,000	37人	
	4 総会懇親会参加費	255,000	279,000	24,000	93人	
	5 雑収入	5,581	1,715,314	1,709,733	名簿発行報奨金 預金利息	
	6 前年度繰越金	2,777,419	2,777,419	0		
	収入合計 (A)	8,328,000	9,623,733	1,295,733		
支出の部	1 業費	3,520,000	2,652,068	867,932		
	① 各支部等活動参加費	400,000	430,000	▲ 30,000		
	② かながわ校歌祭	400,000	505,032	▲ 105,032		
	③ 憶い出の杜維持管理費	400,000	339,240	60,760		
	④ 地引き網開催費	50,000	50,000	0		
	⑤ 同期会等活動助成費	700,000	430,000	270,000		
	⑥ 茅賞	70,000	45,128	24,872		
	⑦ 部活動補助費	300,000	266,243	33,757		
	⑧ 卒業記念品	200,000	196,350	3,650		
	⑨ 厚高新聞購入費	500,000	390,075	109,925		
	⑩ 同窓会資料室整備費	500,000	0	500,000		
	2 管理運営費	3,383,000	2,499,723	883,277		
	① 総会等開催費	710,000	658,670	51,330		
	② 出張交通旅費	100,000	81,000	19,000		
	③ 通信費	80,000	7,350	72,650		
	④ 印刷複写費	150,000	51,030	98,970		
	⑤ 会費振込等手数料	110,000	12,673	97,327		
	⑥ 事務用品費	80,000	1,988	78,012		
	⑦ 会議費	550,000	423,210	126,790		
	⑧ 組織運営費	1,423,000	1,182,302	240,698		
	⑨ 慶弔費	130,000	81,500	48,500		
	⑩ 交際費	50,000	0	50,000		
	3 広報活動費	850,000	582,750	267,250		
	① 広報活動検討費	300,000	57,750	242,250		
	② 同窓会報発行費	550,000	525,000	25,000		
	4 雑費	50,000	8,977	41,023		
	5 予備費	525,000	170,000	355,000	同窓会林補修、名簿表紙絵画代	
	6 定期預金振替	0	0	0		
	支出合計 (B)	8,328,000	5,913,518	2,414,482		
	次年度繰越金(A)-(B)			3,710,215		

平成23年度 母校教育振興基金収支決算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

単位:円

1 収入の部		
前年度繰越金	1,883,903	
雑収入	302	預金利息
合計	1,884,205	①
2 支出の部		
合計	0	②
3 残金 ①－②より	1,884,205	平成24年度へ繰り越し

平成23年度 部活動支援基金収支決算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

単位:円

1 収入の部		
前年度繰越金	1,673,870	
津久井支部会より寄付金	36,000	
雑収入	255	預金利息
合計	1,710,125	①
2 支出の部		
ダンスドリル部	97,000	
女子ソフトテニス部	108,000	
山岳部	62,000	
文芸部	45,821	
弓道部	85,000	
吹奏楽部	184,000	
新聞部	48,380	
軽音楽部	92,000	
合計	722,201	②
3 残金 ①－②より	987,924	平成24年度へ繰り越し

財 産 目 録

平成24年3月31日 現在

	単位:円
1 現金	12,229
2 普通預金	3,697,986
3 定期預金	5,000,000
4 母校教育振興基金	1,884,205
5 部活動支援基金	987,924

正味財産 11,582,344

監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高等学校同窓会 平成23年度の会計について

帳簿等を慎重かつ厳正に監査した結果、正確に整備・記帳されて
いて、その内容はいずれも適正であると認めます。

平成24年6月1日

会計監査

金子輝司 

会計監査

松永光弘 

平成 24 年度事業計画（案）

日 時	事業名	備 考
4月8日	創立110周年実行委員会	レンブラントホテル厚木
4月9日	新入生への応援団OB会「校歌指導」	
4月13日	創立110周年開校記念日	
4月15日	睦合戸陵会総会	
4月28日	玉川・森の里戸陵会総会	
5月4日	地引き網会(創立110周年記念事業)	鵜沼 堀川網
5月15日～21日	写真展(創立110周年記念事業)	市民ギャラリー
5月12日	伊勢原戸陵会総会	
6月4日	記念ゴルフコンペ(創立110周年記念事業)	本厚木CC 40組
6月10日	大和、平塚、海老名戸陵会総会	
6月16日	愛川戸陵会総会	
6月17日	関西戸陵会総会	
6月23日	役員会・理事会・110周年実行委員会	厚木高校 会議室
6月24日	座間戸陵会総会	
7月7日	平成24年度通常総会(13時より) 110周年記念祝賀会	レンブラントホテル厚木
7月11日	小鮎戸陵会総会	
7月19日	依知戸陵会総会	
7月22日	厚木連合戸陵会総会	
8月11日	厚木戸陵会総会	
10月14日	相模原戸陵会総会	
10月21日	校歌祭練習会	厚高 中庭
11月10日	秦野戸陵会総会	
11月17日	思い出の杜に親しむ会 (創立110周年記念事業)	
11月25日	第7回青春かながわ校歌祭	神奈川芸術劇場
平成25年度		
2月3日	記念コンサート(創立110周年記念事業)	杜のホールはしもと
2月	南毛利・相川戸陵会総会	
2月3日	津久井戸陵会総会	
3月3日	御所見戸陵会	

平成24年度 予算(案)

単位:円

項 目		予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1 会費	2,700,000	2,970,000	▲ 270,000	
	2 入会金	2,170,000	2,170,000	0	7,000円×310人
	3 寄附金	200,000	150,000	50,000	
	4 総会懇親会参加費	0	255,000	▲ 255,000	
	5 雑収入	5,785	5,581	204	
	6 前年度繰越金	3,710,215	2,777,419	932,796	
	収入合計 (A)	8,786,000	8,328,000	458,000	
支出の部	1 事業費	2,820,000	3,520,000	▲ 700,000	
	① 各支部等活動参加費	400,000	400,000	0	
	② かながわ校歌祭	400,000	400,000	0	
	③ 思い出の杜維持管理費	400,000	400,000	0	
	④ 地引き網開催費	50,000	50,000	0	
	⑤ 同期会等活動助成費	500,000	700,000	▲ 200,000	
	⑥ 茅賞	70,000	70,000	0	
	⑦ 部活動補助費	300,000	300,000	0	
	⑧ 卒業記念品	200,000	200,000	0	
	⑨ 厚高新聞購入費	450,000	500,000	▲ 50,000	
	⑩ 同窓会資料室整備費	50,000	500,000	▲ 450,000	
	2 管理運営費	3,135,000	3,383,000	▲ 248,000	
	① 総会等開催費	100,000	710,000	▲ 610,000	
	② 出張交通旅費	100,000	100,000	0	
	③ 通信費	50,000	80,000	▲ 30,000	
	④ 印刷複写費	130,000	150,000	▲ 20,000	
	⑤ 会費振込等手数料	55,000	110,000	▲ 55,000	
	⑥ 事務用品費	40,000	80,000	▲ 40,000	
	⑦ 会議費	500,000	550,000	▲ 50,000	
	⑧ 組織運営費	2,000,000	1,423,000	577,000	
	⑨ 慶弔費	130,000	130,000	0	
	⑩ 交際費	30,000	50,000	▲ 20,000	
	3 広報活動費	750,000	850,000	▲ 100,000	
	① 広報活動検討費	100,000	300,000	▲ 200,000	
	② 同窓会報発行費	650,000	550,000	100,000	110周年記念特別号
	4 雑費	30,000	50,000	▲ 20,000	
	5 予備費	301,000	525,000	▲ 224,000	
	6 定期預金振替	0	0	0	
	7 110周年記念事業助成費	1,750,000		1,750,000	
	支出合計 (B)	8,786,000	8,328,000	458,000	

平成24年春の進路状況

<国立大等>

() 内は既卒者：内数

学校名	24年	23年	22年
北海道	2 (1)		1 (1)
東北	1	2 (2)	2 (1)
山形	3 (1)		
茨城	2 (1)		
筑波	5 (1)	3 (1)	6 (2)
千葉	8 (1)	3 (1)	2
お茶の水	2 (1)		
電気通信	3	5 (4)	3 (2)
東京	3	3 (1)	3
東京外国語	2	2 (1)	2
東京海洋	2	1	
東京学芸	3	1 (1)	3
東京芸術		1 (1)	
東京工業	5 (3)	6	6
東京農工	1	7 (2)	3
一橋	1	2 (1)	3 (1)
横浜国立	17 (4)	21 (3)	19 (2)
山梨	1	2	1
静岡	1	2 (2)	1
名古屋	1		
京都	1		
大阪	1	1	2 (1)
神戸		2 (1)	
九州	2 (1)		
その他国立大	5 (2)	7 (5)	9 (2)
国立大計	72 ###	71 ###	66 ###

<公立大>

学校名	24年	23年	22年
首都大学東京	15 (2)	11 (3)	14 (2)
横浜市立	5	7 (1)	3
その他公立大	3	2	2
公立大計	23 (2)	20 (4)	19 (2)

<大学校>

学校名	24年	23年	22年
防衛大学校		1	
防衛医科大学校	1 (1)		
大学校計	1 (1)	1	

<私立大>

学校名	24年	23年	22年
青山学院	63 ###	53 (8)	52 (5)
麻布	4	3 (1)	5 (1)
学習院	12 (3)	7 (2)	7 (1)
北里	16 (5)	19 (3)	15
慶応義塾	36 (7)	33 (4)	35 (4)
國學院	18 (3)	3	4 (1)
国際基督教	2	1	2 (1)
芝浦工業	8 (3)	12 (5)	9 (2)
上智	26 (8)	32 (3)	14 (4)
成蹊	8 (4)	7 (3)	4 (2)
成城	4 (2)	6 (3)	6 (1)
専修	21 (8)	32 ###	14 (1)
中央	62 ###	79 ###	71 ###
津田塾	7 (1)	3 (1)	1
東京女子	2	3	3 (1)
東京慈恵会医科	1 (1)		
東京都市	24 (6)	17 (7)	9 (1)
東京農業	5 (1)	17 (4)	15
東京薬科	5	7	5
東京理科	43 ###	35 (3)	36 (9)
東洋	11 (6)	4	3 (1)
日本	27 (3)	23 (7)	10 (4)
日本女子	4 (1)	18 (2)	
法政	46 ###	36 ###	41 (9)
明治	97 ###	78 ###	119 ###
明治学院	43 (8)	30 (3)	24 (4)
立教	42 ###	29 (6)	61 ###
立命館	2 (1)	3 (1)	3 (1)
早稲田	94 ###	79 ###	111 ###
その他の私大	153 (40)	153 ###	115 ###
私立大計	886 (223)	824 (198)	793 (149)

国公立大学医学部医学科

学校名	24年	23年	22年
弘前			1 (1)
秋田		1 (1)	
筑波	1 (1)	1 (1)	
信州			1 (1)
島根	1		

＜第二部＞記念コンサート

15:00 開会

梶井龍太郎 (高28)

国立音楽大学声楽学科卒業、東海大学大学院芸術学研究科修了
文部省給費留学生として渡独し、ベルリンフンボルト大学哲学科博士
課程修了。

ベルリン国立歌劇場研修生を経て、1986年よりメクレンブルク州立劇
場専属テノール歌手としてヨーロッパ各地のオペラ劇場に客演。
現在、二期会会員、東海大学教養学部芸術学科教授



森口賢二 (高44)



国立音楽大学声楽学科卒業。

同大学院音楽研究科声楽専攻(オペラコース)修了。日伊声楽コンクール入
選。日本音楽コンクール声楽部門(オペラ・アリア)入選。第36回ローマ・
フェスティヴァル国際コンクール第1位入賞など数々のコンクールに入賞。
イタリア、日本で数多くのオペラ公演に出演、現在日本を代表する中堅バ
リトン歌手である。藤原歌劇団団員。

河邊亮子

東京音楽大学音楽学部ピアノ演奏家コースを首席で卒業。

ケルン音楽大学を最優秀の成績で卒業。ベルリン芸術大学大学院修了。ド
イツ国家演奏家資格取得。

ケルン音楽大学ソリストコンクールに優勝、これまでにドイツ及び日本各
地でリサイタル、コンサートに出演。現在、東京音楽大学講師。



＝ 演目 ＝

- ♪ セレナータ (トスティ) 森口賢二
- ♪ ソレント (クルティス) 梶井龍太郎
- ♪ 幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66 (ショパン) 河邊亮子
- ♪ エチュード 変イ長調 作品10-10 (ショパン) 河邊亮子
- ♪ ツィゴイネルワイゼン 作品20 (サラサーテ) 山脇 涼:2年E組
- ♪ 初恋 (越谷) 梶井龍太郎
- ♪ 待ちぼうけ (山田耕作) 梶井龍太郎
- ♪ 荒城の月 (滝廉太郎) 森口賢二
- ♪ 英雄ポロネーズ 変イ長調 作品53 河邊亮子
- ♪ オペラ「トスカ」より 星は光りぬ (プッチーニ) 梶井龍太郎
- ♪ オペラ「カルメンより」闘牛士の歌 (ビゼー) 森口賢二

15:50 閉会

＜第三部＞祝賀会

16:00 開会

- 1 開会のことば
- 2 同窓会長 あいさつ
- 3 祝 杯
- 4 祝 宴
 - (1) 来賓祝辞
 - (2) 来賓紹介
 - (3) 祝電・祝文披露
 - (4) 学校の思い出・思い
- 5 校 歌 応援団OB・吹奏楽部OB
- 6 閉会のことば

18:00 開会

同窓会役員・支部会役員名簿

○ 同窓会役員

役 職	氏 名 (卒回)
会 長	石川範義 (高 10)
副会長	難波 浩 (高 11)、杉田泰繁 (高 14) 曾根秀敏 (高 14)、八木一郎 (高 14) 泊瀬川孚 (高 14)、杉崎秀夫 (高 17) 小島富司 (高 18)、大井理恵子 (高 18) 廣木孝幸 (高 19)
監 事	金子輝司 (高 15)、松永光弘 (高 24)
事務局長	伊藤修治 (高 17)
事務局次長	石塚 修 (高 28)
会 計	足立原泰 (高 12)、足立一彦 (高 17)

○ 支部会役員

支部会	会長名 (卒回)	事務局長名 (卒回)
伊勢原戸陵会	高橋 力 (高 18)	小川 均 (高 22)
秦野戸陵会	八木伸一 (中 40)	松永光弘 (高 24)
津久井戸陵会	小野沢純男 (中 40)	小林義廣 (高 18)
平塚戸陵会	落合重治 (高 13)	渡辺兼行 (高 19)
横浜会	代行：長田敬幸 (高 7)	—
相模原戸陵会	館盛勝弘 (高 14)	金子輝司 (高 15)
座間戸陵会	瀬戸宏孝 (高 4)	山本 愈 (高 11)
愛川戸陵会	梅澤文明 (高 11)	大貫邦重 (高 16)
川崎市多摩麻生戸陵会	町山良行 (高 11)	—
綾瀬戸陵会	代行：新倉正治 (高 15)	笠間城治郎 (高 14)
海老名戸陵会	杉崎秀夫 (高 17)	鶴指眞澄 (高 15)
三浦半島戸陵会	—	伊藤 学 (高 30)
大和戸陵会	高橋武彦 (高 8)	長田靖子 (高 33)
御所見戸陵会	井出照雄 (高 11)	大貫睦男 (高 17)
厚木連合戸陵会	石射隆宏 (高 14)	平野亮二 (高 27)
厚木戸陵会	遠藤伸安 (高 10)	池田 清 (高 19)
依知戸陵会	都高 泉 (高 17)	大塚憲二 (高 18)
睦合戸陵会	下川信好 (高 14)	山岡 清 (高 21)
荻野戸陵会	花上 肇 (高 11)	伏見 清 (高 18)
小鮎戸陵会	志村昴二 (高 15)	森久保純生 (高 16)
南毛利戸陵会	神崎 愷 (高 13)	小沢正志 (高 18)
玉川・森の里戸陵会	高橋増次 (高 11)	山口義章 (高 15)
相川戸陵会	高橋 將 (高 14)	山口正春 (高 17)
清川戸陵会	石川武久 (高 16)	相原栄一 (高 20)
新潟戸陵会	青木茂治 (高 9)	齊藤勝司 (高 8)
関西戸陵会	齊藤十内 (高 16)	福本豊 (高 28)

『神奈川県立第三中学校創立略史』〈抜粋〉

故人曰く、二人同心其の利断金と 況や多数人士の協同一致、黽勉事に従い、上下其の徳を一にせば何事か成らざらん

是れ、実に本郡の名誉にして、未来永遠に本校より濟々たる多士を輩出し、直接間接に国利民福の増進を図るに至は勿論なりとす

此地、昔、推古帝の御宇、七堂伽藍の建立ありて、玉照尼の住持たる史跡の勝地たり

然るに、鎌倉時代建長四年、不幸にして祝融の禍災に罹り烏有に歸せりと 所謂尼寺原の称、此時に起る焉

其の後、六百有余年の星霜を経て、明治の今日、文運の進歩に伴い、ここに神奈川県立第三中学校を建設するに至れり

此創立に際し、拮据經營せる諸士の功劳は実に没す可らざるものであり、因て、其の顛末を記し、永く記念に存すと云爾

明治維新から三十余年。激動の時代に愛甲郡の人々の教育にかける情熱は、多くの困難を克服し、戸室ヶ丘に神奈川県立第三中学を建設するに至った。

『神奈川県立第三中学校創立略史』は明治34年1月から3月までの第三中学建設に従事した人々の活躍を詳細に記録した貴重な歴史資料である。